平成２３年度茨城県中小企業 IT 活用に関する実態調査結果（概要）

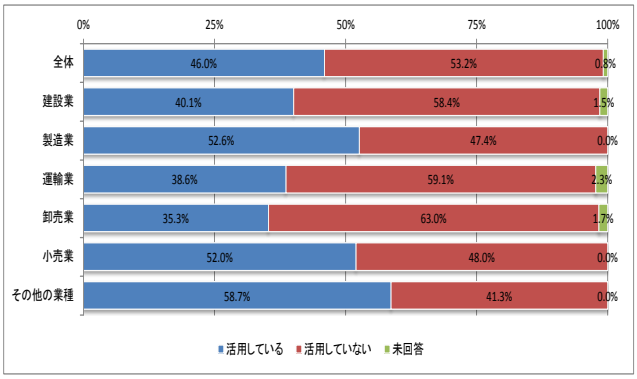
◆調査時点：平成２４年１月３１日　　◆調査方法：郵送によるアンケート調査
◆調査対象：県内中小企業　３，０００社　　◆回答状況：７２０社（回答率 24.0%）

１　受発注業務におけるインターネットの活用状況

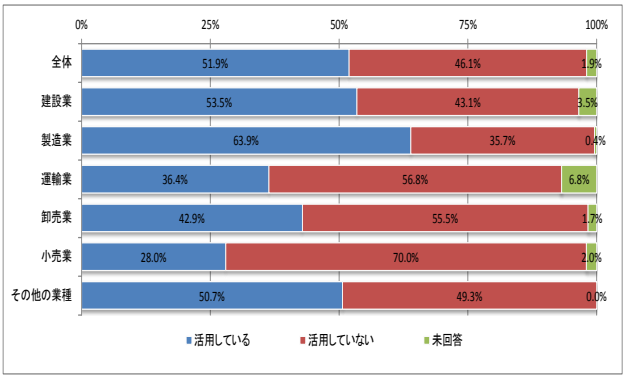
受発注業務にインターネットを利用している企業は発注業務 46.0%，受注業務 51.9%となり，利用媒体としては「発注業務」「受注業務」とも「電子メール（発注 60.1%，受注 56.1%）」が最も多く，次いで「取引先のシステム（発注 42.9%，受注 46.8%）」であった。

受発注業務におけるインターネットを通じた取引額の割合は，「5%未満」が発注 37.2%，受注 32.9%であったが，「30%以上」とする企業も発注 18.4%，受注 27.5%となった。

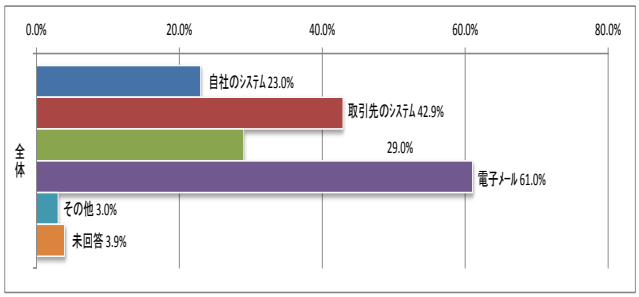
課題については，「セキュリティ上の不安がある（発注 17.6%，受注 18.3%）」が最も多く，次いで「管理する人材がいない（少ない）（発注 17.4%，受注 22.2%）」であった。



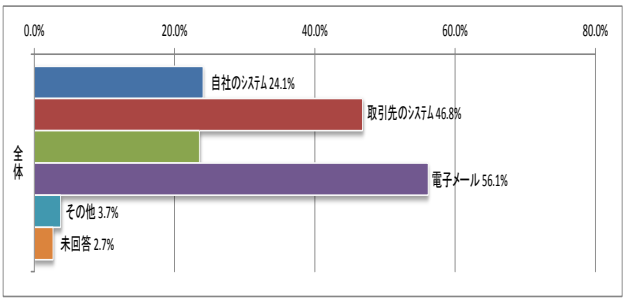
（活用状況：発注）



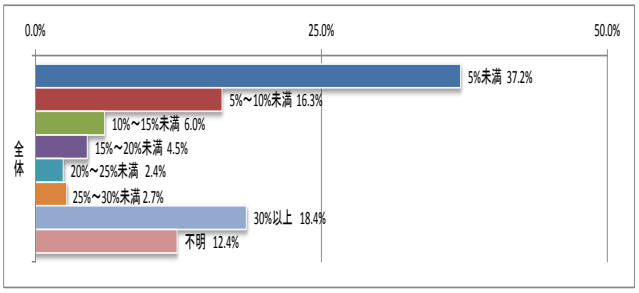
（活用状況：受注）



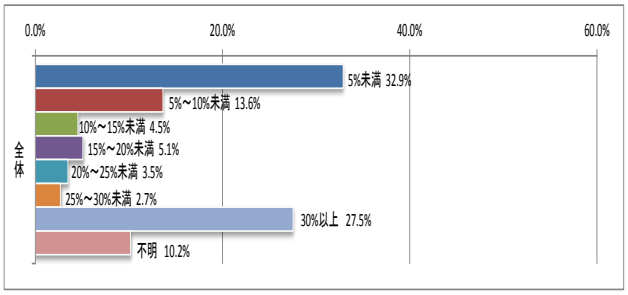
（利用媒体：発注）



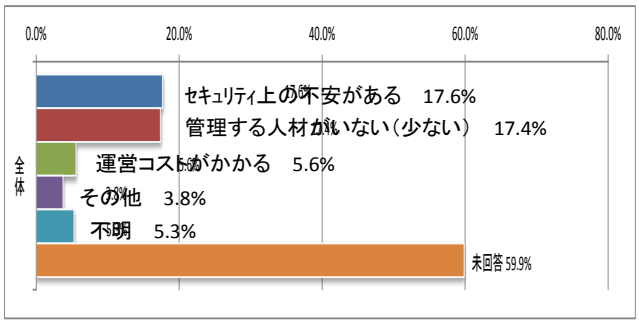
（利用媒体：受注）



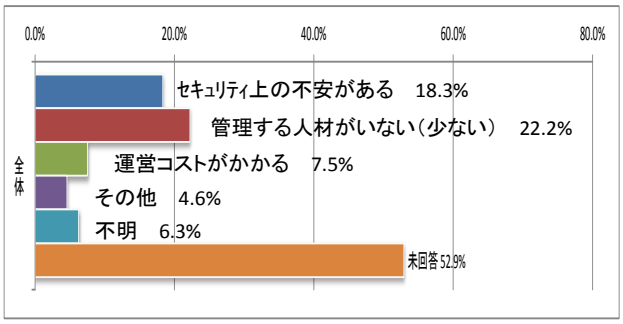
（仕入割合：発注）



（販売割合：受注）



（発注業務における課題）

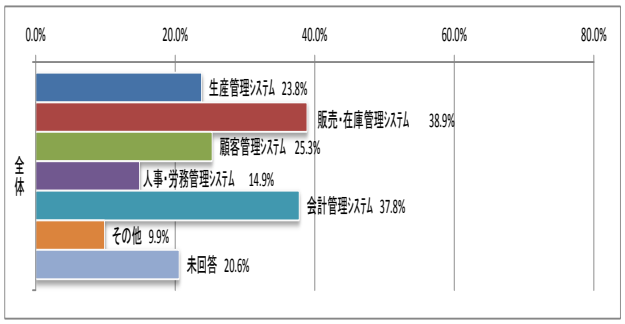


（受注業務における課題）

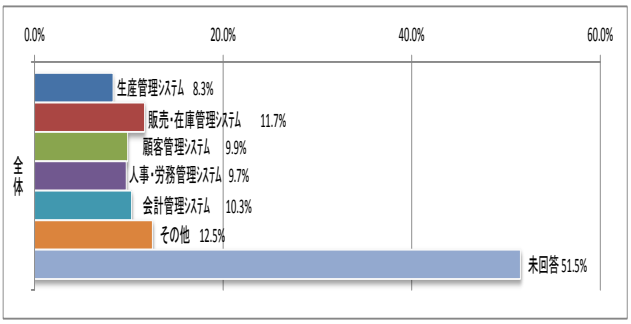
２　ＩＴを活用した経営効率化

利用しているシステムについては，「販売・在庫管理システム（38.9%）」次いで「会計管理システム（37.8%）」，「顧客管理システム（25.3%）」であり，今後導入予定のシステムについても概ね同様の結果となった。

課題については，「管理する人材がいない（少ない）（41.0%）」が最も多く，次いで「システムの更新にコストがかかる（26.3%）」，「運営コストがかかる（24.0%）」と続く。



（利用しているシステム）



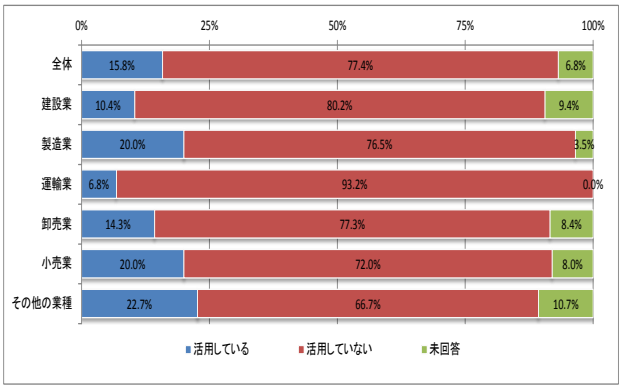
（今後導入予定のシステム）

３　インターネットを活用した販売状況

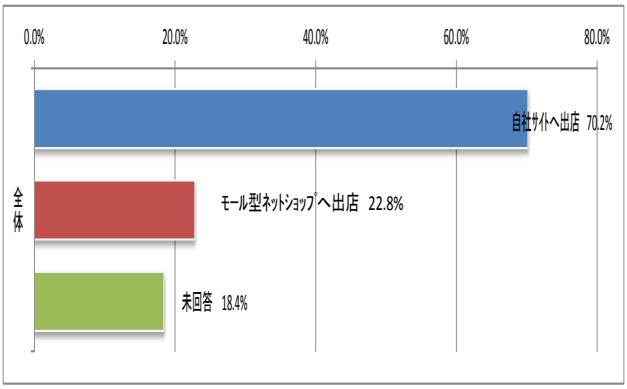
ネット販売の活用状況については，ネット販売を「活用している（15.8%）」のうち「自社サイトへ出店（70.2%）」がほとんどであった。

年間売上高に占めるインターネットを利用した売上の割合は，「5%未満（68.4%）」が大半であった。

課題については，「売上げに結びつかない（9.4%）」，「管理する人材がいない（4.0%）」，「セキュリティ上の不安がある（2.5%）」が多い結果となった。



（ネット販売の活用状況）



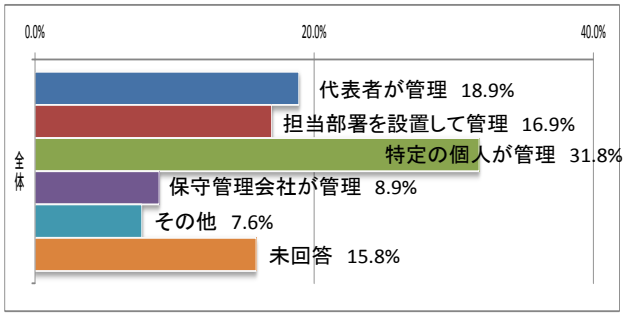
（売上高に占めるネット販売の割合）

４　インターネット・ホームページの管理状況

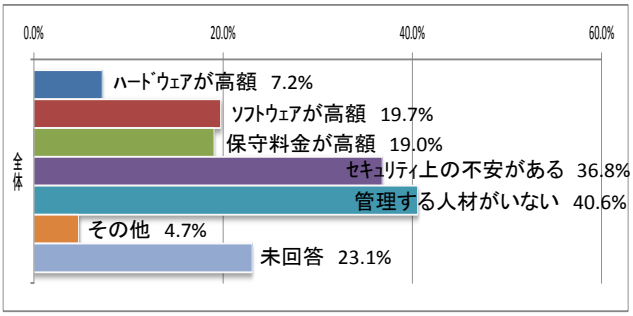
ネット環境の管理については「特定の個人が管理（31.8%）」が最も多く，次いで「代表者管理（18.9%）」，「担当部署を設置して管理（16.9%）」となった。

課題については，「管理する人材がいない（43.4%）」が最も多く，次いで「セキュリティ上の不安がある（23.2%）」であった。

セキュリティ上の不安材料については，「ウイルス感染（87.2%）」が最も多かった。



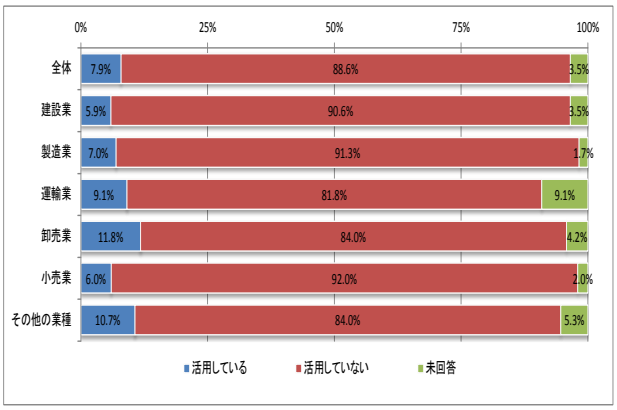
（ネット環境の管理状況）



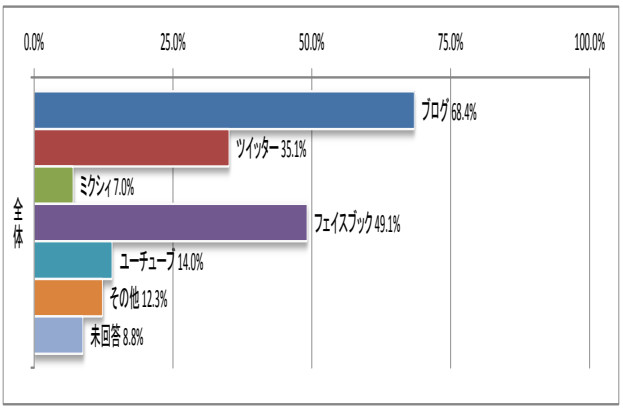
（管理における課題）

５　ＩＴ化の新たな動き（ＳＮＳ：ソーシャル・ネットワーキング・サービス）について

ＳＮＳの活用については，「活用している（7.9%）」であり，そのうち活用媒体は「ブログ（68.4%）」，「フェイスブック（49.1%）」，「ツイッター（35.1%）」となった。



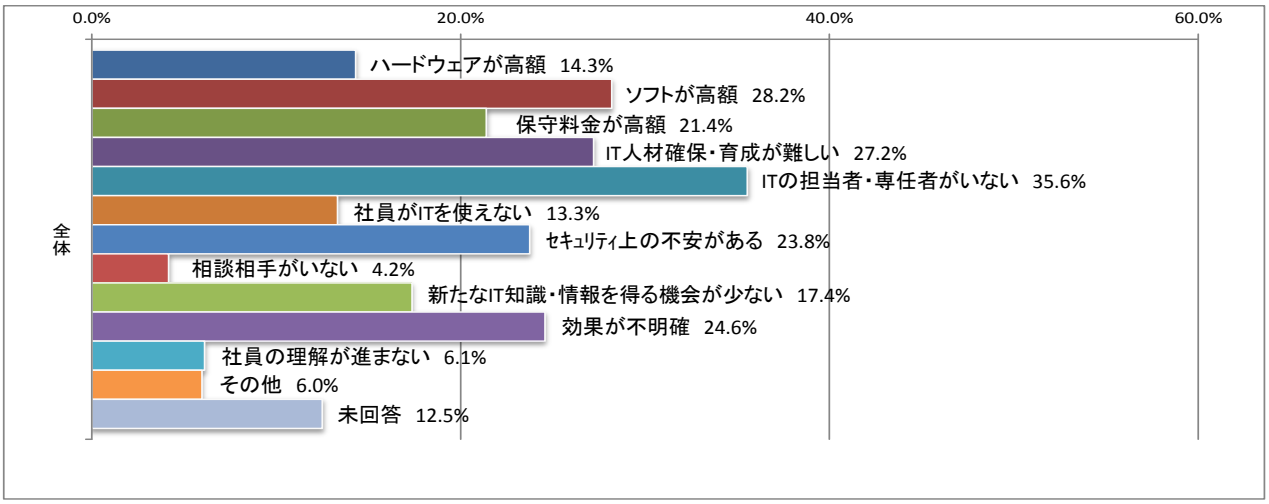
（クラウドの活用状況）



（クラウドの関心度）

６　ＩＴの運用・利活用上の課題

ＩＴの運用・利活用上の課題については，「ＩＴの担当者・専任者がいない（35.6%）」，「ソフトが高額（28.2%）」，「ＩＴ人材確保・育成が難しい（27.2%）」となった。



（ＩＴの運用・利活用上の課題）